

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年11月2日
【四半期会計期間】	第15期第2四半期（自平成30年7月1日至平成30年9月30日）
【会社名】	FRACTALE株式会社 （旧会社名 セブンシーズホールディングス株式会社）
【英訳名】	FRACTALE Corporation （旧英訳名 SEVEN SEAS HOLDINGS CO.,LTD.）
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 星野 喜宏
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門二丁目5番5号
【電話番号】	03 - 5501 - 4100
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 関本 秀貴
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門二丁目5番5号
【電話番号】	03 - 5501 - 4100
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 関本 秀貴
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）平成30年6月20日開催の第14回定時株主総会の決議により、平成30年10月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第14期 第2四半期 連結累計期間	第15期 第2四半期 連結累計期間	第14期
会計期間		自平成29年 4月1日 至平成29年 9月30日	自平成30年 4月1日 至平成30年 9月30日	自平成29年 4月1日 至平成30年 3月31日
売上高	(千円)	124,593	1,750,538	522,192
経常利益又は経常損失()	(千円)	81,474	178,345	127,534
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	(千円)	82,694	177,416	449,928
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	82,694	177,416	449,928
純資産額	(千円)	2,544,104	3,185,330	3,075,248
総資産額	(千円)	2,589,665	8,239,233	5,373,553
1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失()	(円)	12.04	26.43	66.25
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	98.2	38.7	57.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	80,157	2,795,115	254,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,930	739	1,190,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	199,813	2,050,309	393,194
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(千円)	2,182,292	226,924	970,990

回次		第14期 第2四半期 連結会計期間	第15期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自平成29年 7月1日 至平成29年 9月30日	自平成30年 7月1日 至平成30年 9月30日
1株当たり四半期純損失()	(円)	2.38	18.28

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第14期において普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。第14期期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失()を算定しております。
- 4 第14期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第14期及び第15期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社及び子会社4社により構成されており、不動産売買、不動産事業プロジェクトへの投資、保有不動産の管理等を行っております。

当第2四半期連結累計期間における主要な事業内容の変更と主要な関係会社の異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）のわが国経済は、政府の経済政策を背景に、企業の収益改善やそれに伴う設備投資や雇用及び所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

また、本格的に人口減少・少子化・高齢化が進展する中、AIといったテクノロジーが加速的に進化し、人々の価値観の多様化・分散化が進むとともに、社会の持続可能性や企業の社会的責任に対する意識が高まるなど、当社をとりまく事業環境が大きく変化していくことが予想されます。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性向上に鋭意取り組みを積極的に図ってまいりました。

不動産&フィナンシャル事業において、合同会社バロンが保有する販売用不動産の売却に加えて、セブンスーズ・アセット・マネジメント(株)及び池田不動産(株)が保有する不動産物件の管理を行った結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における連結売上高は1,750百万円（前年同四半期124百万円）となりました。

なお、当社は平成30年3月にメディア&マーケティング事業から撤退し、不動産&フィナンシャル事業の単一セグメントとなったため、セグメント別の記載を省略しております。

また、平成30年10月1日付で、当社はFRACTALE(株)にセブンスーズ・アセット・マネジメント(株)はデューイ(株)へ商号を変更しております。

損益面につきましては、営業利益は248百万円（前年同四半期は営業損失82百万円）、経常利益は178百万円（前年同四半期は経常損失81百万円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は177百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失82百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、226百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、減少した資金は2,795百万円（前年同四半期は80百万円の増加）となりました。これは主に、たな卸資産の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、増加した資金は0百万円（前年同四半期は1百万円の増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、増加した資金は2,050百万円（前年同四半期は199百万円の減少）となりました。これは主に短期借入及び長期借入による収入によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当社子会社であるセブンシーズ・アセット・マネジメント(株)は、収益ビルの取得を目的に金融機関からの借入を行い、当社として当該借入における債務保証をしております。

(1)借入先	金融機関1行
(2)借入金額	3,000百万円
(3)借入金利	短期プライムレート(平成30年9月末迄) 全銀協1ヶ月TIBOR + 0.7%(平成30年9月末以降)
(4)契約締結日	平成30年8月31日
(5)借入実行日	平成30年8月31日
(6)債務保証効力発生日	平成30年8月31日
(7)返済期限	平成35年9月30日(予定)
(8)担保の有無	有(当該不動産)

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年11月2日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品取 引業協会名	内容
普通株式	7,183,195	7,183,195	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は、 100株でありま す。
計	7,183,195	7,183,195	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年7月1日～ 平成30年9月30日		7,183,195		100,000		

(5) 【大株主の状況】

平成30年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
アクア戦略投資事業有限責任組合	東京都千代田区永田町1-11-30	4,365,920	65.03
藤堂 裕隆	東京都港区	176,000	2.62
株式会社レノ	東京都渋谷区東3-22-14	169,240	2.52
GMOクリック証券株式会社	東京都渋谷区桜丘町20-1	165,800	2.46
株式会社オフィスサポート	東京都渋谷区東3-22-14	98,000	1.45
飯塚 知一	東京都目黒区	80,000	1.19
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1-6-1	67,800	1.01
植島 幹九郎	東京都港区	54,200	0.80
MKトラスト株式会社	東京都千代田区丸の内2-2-1	54,000	0.80
楽天証券株式会社	東京都世田谷区玉川1-14-1	52,200	0.77
計		5,283,160	78.70

(注) 発行済株式総数の10分の1以上の数の株式を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しております。

(6) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成30年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 470,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,660,200	66,602	
単元未満株式	普通株式 52,595		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,183,195		
総株主の議決権		66,602	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式50株が含まれております。

【自己株式等】

平成30年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) セブンスーズホー ルディングス(株)	東京都港区虎ノ門 2-5-5	470,400	-	470,400	6.54
計		470,400	-	470,400	6.54

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成30年7月1日から平成30年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人ハイビスカスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	995,990	251,924
販売用不動産	2,116,869	1,728,252
その他	21,327	231,702
貸倒引当金	6,110	2,723
流動資産合計	3,128,077	8,209,156
固定資産		
有形固定資産	2,217,952	1,641,5
無形固定資産		
その他	1,977	3,359
無形固定資産合計	1,977	3,359
投資その他の資産		
その他	25,545	20,301
投資その他の資産合計	25,545	20,301
固定資産合計	2,245,475	30,076
資産合計	5,373,553	8,239,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,200,000	380,000
1年内返済予定の長期借入金	-	50,004
その他	55,512	550,259
流動負債合計	2,255,512	980,263
固定負債		
長期借入金	-	3,941,662
その他	42,792	131,977
固定負債合計	42,792	4,073,639
負債合計	2,298,304	5,053,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,944,216	2,380,196
利益剰余金	167,456	841,761
自己株式	136,424	136,627
株主資本合計	3,075,248	3,185,330
純資産合計	3,075,248	3,185,330
負債純資産合計	5,373,553	8,239,233

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	124,593	1,750,538
売上原価	140,858	1,394,418
売上総利益又は売上総損失()	16,265	356,120
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	25,674	22,192
支払手数料	27,565	26,889
その他	12,554	58,164
販売費及び一般管理費合計	65,794	107,246
営業利益又は営業損失()	82,059	248,873
営業外収益		
受取賃貸料	9,381	5,360
受取保険金	-	2,311
その他	290	1,285
営業外収益合計	9,672	8,958
営業外費用		
支払利息	15	17,765
アレンジメントフィー	-	55,296
その他	9,071	6,423
営業外費用合計	9,087	79,485
経常利益又は経常損失()	81,474	178,345
特別損失		
固定資産処分損	-	128
減損損失	157	-
特別損失合計	157	128
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	81,631	178,216
法人税、住民税及び事業税	1,062	800
法人税等合計	1,062	800
四半期純利益又は四半期純損失()	82,694	177,416
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	82,694	177,416

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	82,694	177,416
四半期包括利益	82,694	177,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,694	177,416

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	81,631	178,216
減価償却費	921	16,197
返品調整引当金の増減額(は減少)	51,440	-
たな卸資産の増減額(は増加)	146,393	3,413,382
その他	68,701	445,936
小計	82,943	2,773,031
利息及び配当金の受取額	13	-
利息の支払額	15	20,676
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	2,784	1,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,157	2,795,115
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	350	-
有形固定資産の取得による支出	-	2,735
無形固定資産の取得による支出	-	1,415
その他	1,580	4,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,930	739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	880,000
短期借入金の返済による支出	-	2,700,000
長期借入れによる収入	-	4,000,000
長期借入金の返済による支出	-	8,334
自己株式の取得による支出	89,853	203
配当金の支払額	-	66,065
その他	109,959	55,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	199,813	2,050,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	117,725	744,066
現金及び現金同等物の期首残高	2,300,018	970,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,218,292	1,226,924

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の保有目的の変更

当第2四半期連結会計期間(平成30年9月30日)

第1四半期連結会計期間より下記の有形固定資産を販売用不動産に振替えております。

建物	137,800千円
土地	2,068,000千円

2 貸出コミットメント

四半期連結会計年度末における、貸出コミットメントに係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
貸出コミットメントの総額	1,100,000千円	1,200,000千円
借入実行残高	1,000,000千円	100,000千円
差引額	100,000千円	1,100,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
現金及び預金勘定	2,207,292千円	251,924千円
預入期間が3ヶ月超の定期預金	25,000	25,000
現金及び現金同等物	2,182,292	226,924

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年6月20日 定時株主総会	普通株式	67,132千円	10円	平成30年3月31日	平成30年6月21日	その他資本剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産&フ ィナンシャル 事業	メディア& マーケティング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	158,191	33,598	124,593	-	124,593
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	158,191	33,598	124,593	-	124,593
セグメント損失 ()	2,069	16,470	18,540	63,519	82,059

(注)1 セグメント損失()の調整額 63,519千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 メディア&マーケティング事業の外部顧客への売上高 33,598千円は、売上高26,711千円に返品による売上戻り高 60,309千円を計上したことによるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「不動産&フィナンシャル事業」セグメントにおいて、将来使用見込がなくなったソフトウェアについて減損損失を157千円計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「不動産&フィナンシャル事業」「メディア&マーケティング事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度に「メディア&マーケティング事業」を構成する(株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディアの全株式を譲渡したため、第1四半期連結会計期間より「メディア&マーケティング事業」は廃止となりました。

これにより、当社グループは単一セグメントとなることから、当第2四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	12円04銭	26円43銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	82,694	177,416
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	82,694	177,416
普通株式の期中平均株式数(株)	6,869,580	6,712,929

- (注) 1 平成30年2月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純損失()を算定しております。
- 2 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年11月2日

FRACTALE株式会社

取締役会 御中

監査法人ハイビスカス

指 定 社 員 公認会計士 高 橋 克 幸
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 阿 部 海 輔
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているFRACTALE株式会社（旧会社名 セブンスーズホールディングス株式会社）の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成30年7月1日から平成30年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、FRACTALE株式会社（旧会社名 セブンスーズホールディングス株式会社）及び連結子会社の平成30年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。